東洋学研究に対するライデン大学の貢献（下）

フォーレル博士の講ずる

東洋学研究に対するライデン大学の貢献

東洋学研究に対するライデン大学の貢献

大

類

純

極東に関する言語学や関連学に対してライデン大学が何を為したか

東洋学研究に対するライデン大学の貢献

大

類

純

東洋学研究に対するライデン大学の貢献（下）

フォーレル博士の講ずる

東洋学研究に対するライデン大学の貢献

大

類

純
二八

二八六年に、彼は館長に同伴して江戸に出向いた。二年後のこと

後在外商務が立ち、最初の館長はヤックス・スコックスであった。

長期間にわたって（一八三〇〜一八五四）日本に領国をしていたことに

は周知のことであるが、オランダ人だけが貿易を許されていた唯一

の国であった。しかし、彼らの出入りは長崎港の近い出島という小

島であった。この使節団は、オランダ人にとって日本の国民について

知られていた。この見聞はモノタヌスとヴァレンティの著作に現れた。この

学派は、パバリアのヴェルプルク出身の著名な医師、植物

学者であり、その幅広い科学への関心、不屈の努力、高い理想は日本

に到着した際に、二八三年に日本に派遣されたオランダ東インド軍の軍

校長としての使命を受けており、彼の出島生活は、彼自身の

の名前から、また植物学、動物学、鉱物学、地質学に関する収集に着手

した。

二八

その後、彼は再び日本に派遣され、今度は日本の植物の栽培用に

する視察を目的にした。彼は植物の種類を詳しく観察し、その結果、

多くの植物を日本に持ち帰った。

一方、彼は彼の職業人生を追究し、彼自身の日本での生活について

の日々を過ごし、その結果を書いた。

二八

彼の名前が見える。一八三九年四月には、彼は東京に到着し、初めて

の彼はその CNBC でオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

に初めてこれらの見物客に彼のユニークな庭園をたたえられた。この

に見物客が訪れたときには、多くの宮廷の文書や学者、芸術

書館に保存されている来客要望書には、彼の住居を「ヒッピー

が美しく咲くこの庭園」で記載している。彼はその住居を「ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちなんで名付けた。彼の伯父であるオランダのアレクサンドラー・ヒッピー

にちんで
日本の公開は一八五四年に成立し、同じ年にフォン・シュールトの追放の決定を撤回した。このことが、彼を彼の生涯を捧げた国——日本を再び訪れるように可能ならしめたのである。しかし、かなり苛烈な失望に終わったこの第二の日本滞在（一八六〇年）に、ついでには、われわれは楽しみに語ることができない。

先に述べたもう一人のドイツ人学者のヨハン・ヨーゼフ・フォン・シュールトは、ヴェルシュブルク生まれ。この同じ環境が彼がフォン・シュールトと近づきを求めるようになったのです。この二人は、偶然一八三〇年七月にアントヴェルペンの旅館で出会うことになったのである。彼の助手で、彼の著作の「ノッポー」を執筆するに当って、この同郷人を彼の助手として選ぶことは、彼の探求の意である。彼の言語を学ばなければならないか、とという、日本語を正規に通じることから始めなければならないか、と考えて、彼はフォン・シュールトがバタヴィアから遣わされた中国人である高数藏（推定）を教師として得ることができた。のみならず、アベル・レマが、彼の日本語を教えることを命じられた。こうして彼は、彼の日本語を学び、彼の著作『フォン・シュールトの日本語文法』を手引しとし、彼の同行者として手に入れた。
1970年代に研究を続けているが、彼は1970年代の研究を絶えないものである。彼は、日本の古代文学、民族学、経済学、社会学、人類学、日本語学、教育学、心理学、哲学等の研究を数多く手掛けてきた。

1940年代に、彼は東京大学を卒業し、その後は、東京大学で博士論文を提出し、1948年に学位を取得した。その後は、東京大学で助教授、その後は、東京大学で教授を務めている。

1950年代に、彼は東京大学で教授を務め、その後は、東京大学で教授を務めている。1960年代に、彼は東京大学で教授を務め、その後は、東京大学で教授を務めている。1970年代に、彼は東京大学で教授を務め、その後は、東京大学で教授を務めている。1980年代に、彼は東京大学で教授を務め、その後は、東京大学で教授を務めている。1990年代に、彼は東京大学で教授を務め、その後は、東京大学で教授を務めている。
東インド会社の役人社員は、話しかなり深い、言葉の実際の知識を自律的に満足していた。その中では、G・H・ウェルドリーという人物がいまだにその著書「Liber Regum」(1700年)において、それは書かれた当時においては決定的な評価を受けていた。セイヤーの論著が出版されたのは一八三三年で、それらの著書は一八四七年までに刊行された。新約書のセイヤー論は、一八三三年に出版され、現代でもなおアンボイのクライシアン人口の間では高い評価を受けてい

シヴァの主要言語であるシヴァー語の研究は、一九世紀以前には始まらない。シヴァー語の文法が出版されたのは一八三三年で、それらの言葉は印刷された。現在でもなおアボイのクライシアン人口の間では高い評価を受けてい

シヴァー語の両文法においては、重要な科目であった。はじめして、デルフトのライデン大学に委任された。新しく機能して力強く対処するために一八七六年の大学法によってライデン大学にライデン語とシヴァー語の教科のポストを持つ。
古銭学、言語学、その他の学問の研究部門において卓越した業績を果たしたことはよく知られている。以下、この第三年目の学位論文について述べる。

P.V.ファーマンの「カーネルズ」（八三三・九三八）などの研究は、ジャヴァの文官になるべくライデンで教育を受けたが、彼は、東インド会社の雇用に尽きっていた。彼の研究は、言語学や比較文学の分野における彼の才能に対し、研究を深める上での必要性を示した。

研究者は、「カーネルズ」（八三三・九三八）の研究を深めたが、彼の死に先だって彼は他の研究者ともに実地研究を行った。その研究は、言語学や比較文学の分野における彼の才能に対し、研究を深める上での必要性を示した。

研究は、「カーネルズ」（八三三・九三八）の研究を深めたが、彼の死に先だって彼は他の研究者ともに実地研究を行った。その研究は、言語学や比較文学の分野における彼の才能に対し、研究を深める上での必要性を示した。
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
するためオランダ聖書協会によって、スマトラの内政についての職
七年のほかに彼はジャヴァの文学、言語学、民族学についての多量の論文を書き、またさらに植民地政策の問題に関しても書いている。健康を害して彼は、一九二八年に教授の職を辞し、一九二九年の末に急逝した。

今世紀の始めから、バタヴィアにあるオランダ政府が、彼を聖書協会に勤務する言語学者の数、絶えず増加していてている。それらの中には、インドネシアの各地方で民族誌学研究に親身献身した者たちもいた。これらは、一九九六年に始まった政府事業の一環で、マレー語、ジャヴァ語、スラvang語の短篇小説、旅行記などを出版して、インドネシアの民衆の中で興味と関心をもたらしているものであった。この中には、オランダ語やフランス語からの翻訳も含まれていた。彼らの多くは、ジャヴァ人や他のインドネシア人の中ほどにかかわる教育の民衆文化に対して教育するために、ソローに建てられた学校の教室の中に、W.F.ストゥッターイム博士がこの教育施設の初代の校長で、この制度が成功したのは彼の熱意と学識に負うところが大きい。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八年に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大きな。彼はまた、ライデン大学の卒業で、大学は一九四八人に彼に大き